

社会主義初級段階における収入分配

日 時：2019年12月13日（金）16：20～17：50

会 場：熊本学園大学 14号館5階 第5会議室

講 師：呉遵杰 氏（ごじゅんけつ 深圳大学交換教員）

講演言語：中国語 ※逐次通訳有

参加
無料



<プロフィール>

中国深圳大学経済学部副教授。2019年9月1日～2020年2月29日 熊本学園大学に交換教員として在職。現在は主に、発展経済学、外国経済思想史等方面的研究に従事している。

新中国は、発展の遅れと貧困という基礎の上に建設された。何億人もの人民の衣食問題を解決するために、国は1956年から生産手段について公有制（国有と一部の団体所有）を進め、さらに分配システムとして労働分配を実行した。しかし分配は、平等主義を保つことができて、生産効率を上げることはできなかった。1978年には第十一次三中全会において改革開放戦略を確立させた。この時公有制に加えて、多種多様な所有制（民営、外資等）も共存することとなったのだが、分配システムにおいては労働分配のほか資本や技術等に基づく要素分配も行われ、新たな問題として貧富の格差が広がった。全ての人民が共に裕福になるという全体の目標の下で、公平さと効率の関係をいかに両立していくかという問題は、改革開放の新形勢の中で、我々が依然として抱える重要な課題である。

参加ご希望の方は、ご氏名・ご所属・ご連絡先を明記のうえ、FAXまたはEmailで事前にお申込みください。

※申込受付後、受講ハガキ等はお送りしませんので、当日はそのまま会場へお越しください。

※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

<申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学付属海外事情研究所（担当：学術文化課）

月～金 8：45～17：15（12：30～13：30除く）

Email：kaigai@kumagaku.ac.jp / FAX：096-364-5201（専用）

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 TEL：096-364-8731（直通）